

## 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告（概要）

### 1 目的と概要

本市においては、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく、「子ども・子育て支援新制度」の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする「鳥取市子ども・子育て支援事業計画（平成 27 年度～平成 31 年度）」を作成し、計画的な取り組みを実施している。

本調査は、第 2 期の計画策定にあたり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、就学前児童の保護者における教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」等を把握することを目的として実施した。

### 2 実施方法

- (1) 委託先：鳥取大学
- (2) 調査対象：本市における就学前児童の保護者 3,000 名（住民基本台帳から無作為抽出）
- (3) 調査期間：平成 30 年 12 月 25 日～平成 31 年 1 月 31 日
- (4) 調査方法：調査票を郵送により配布、回収

### 3 調査結果

【有効回答数】 1,184 票（回収率 39.5%）

#### 子育て環境

子育ては「父母ともに」が 52.6%と最も多く、また、気軽に相談できる人（施設等）として、「祖父母等の親族」79.1%、「友人・知人」66.9%と多いが、前回調査（平成 25 年 11 月）と比べてこの両者はやや減少し、逆に「保育士」44.3%、「幼稚園教諭」16.6%、「子育て支援施設」10%、「保健所・保健センター」5%の割合がやや増加している。

#### 保護者の就労状況

母親、父親とも前回調査と比べて、フルタイム勤務が増えており、勤務時間については、母親、父親とも「8 時間」が最も多く、「9 時間以上」の割合は減少している。

また、就労していない母親のうち、約半数（49%）は「いずれ就労したい」と考えており、就労時期は子どもが「3 歳」の時期が最も多く（34.3%）、希望就労形態は「パート・アルバイト等」が 77.6%と最も多い。

#### 教育・保育・子育て支援事業の利用状況

利用状況は、「保育園」が 46.7%と最も多いが、前回調査で 2 番目に多かった「幼稚園」が 7%減り 9.5%、3 番目だった「認定こども園」が 11.3%増加し 21.7%と逆転している。今後の利用希望についても同様の傾向だが、「認定こども園」だけが前回調査よりも割合が増えている。

教育・保育施設の満足度は「やや高い」が 40.7%と最も多く、「高い」も 32.9%となっている。

また、地域における子育ての環境や支援全般の満足度は、「どちらともいえない」が 42.8%と最も多いが、前回調査よりも「やや高い」が 10.8%増加、「高い」も 7.5%増加し、満足度は上昇傾向にある。

### 4 今後の取り組み

今回のニーズ調査結果及び第 1 期子ども・子育て支援事業計画の取り組み評価などから現状の事業評価・課題整理を行うとともに、各種事業の目標量・確保量を検討・設定し、それらを踏まえた事業計画策定を進めていく。